

快適な居住空間を追求  
家族とともに時を刻む  
こだわりの家づくり



以前に3年暮したアメリカの家のような広々とした空間に住みたかったというYさん夫妻。ダイニング、キッチン、リビングなど各スペースを仕切らず、また天井高を変えることでそれぞれの快適空間を創りました。

次世代の住まい  
CASE 23  
宮城県仙台市  
Yさんの家  
取材日/2012年1月



1Fリビングの天井高を上げたことで2Fホールに段差が生まれ、ひとつの部屋としても使える楽しいスペースに。

「天然木に興味がありました。利府のモデルハウスを訪れるまでモミの木という選択は思いつきませんでした」とYさんご夫妻。2009年から理想の我が家を目指して、あちこちの住宅展示場を訪ね歩いた中でも、「モミの木の家」というフレーズはインパクトがあったとか。決め手になったのは、消臭、抗菌効果などモミの木の機能性の高さや足触りの柔らかさ。また主人はムク材で床暖房の設置ができることにも興味を持って下さいました。一方奥さまは、「どのメーカーというより、家づくり熱心に関わってくれる人がいいと思っていました」と「人が決め手」とのうれしい言葉を頂きました。

モミの木が創り出す健康な空気のほか、暖かさや床暖房や採光、照明など家族が心地よく過ごせる空間設計にこだわったご主人。「スタッフの皆さんが主人の思いにとことん付き合ってくれたおかげで納得の家ができました」と奥さま。タイルを貼ったり、棚を作ったりと自分たちで手を掛け、家づくりを楽しんでいたお二人。床や塗り壁の手入れをしながら、家族の時間とともに味わいが増す家を今から楽しみにして下さっています。

初来店の際、奥様が他のモデルハウスに行かれた後もご主人が残り沢山の質問をして下さったのが印象にあります。1年後位に再来店して頂き当社での建築がスタートしました。お仕事柄、時間の無い中でしたが、「夢だった家造りの為、こだわりは二つ。一つは山のお話を日付が変わる事もありました。いつもお気遣い頂き夕食までご馳走になり、奥様のとてもおいしい料理には感動しておりました。有難う御座います。建築中に震災があり工事が遅れてしまいましたが、ゆくりでい「です」と嫌な顔せず接してくれました。又、自宅が津波被害にあった私に「自宅を建てよう」と温かい言葉まで掛けて下さりました。一生忘れられないお言葉です。

Y様と出会えた事は私の人生の宝となりました。感謝しております。



担当より一言  
営業 佐々木

「この家は『感謝の家』です。取材に訪れたスタッフに開口一番こう言ってくれたYさんご夫妻。家の施工途中に起こった東日本大震災。幸い大きな被害はなく、少しでも早く安心の我が家へと工事を進めました。大変な中、予想より早く入居できた」と喜んで下さいました。



玄関ホールは6畳ほどある広々スペース。いずれはテーブルを置いてお茶を飲めるような、サンルームとして使いたいと奥さま。



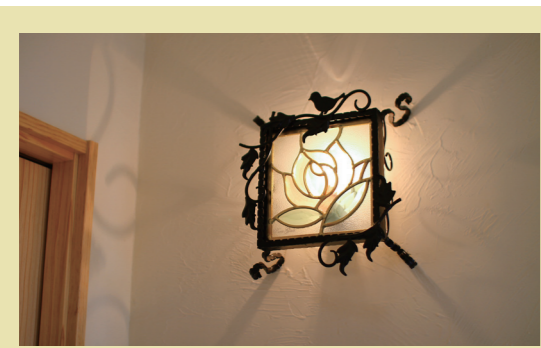
畳敷きの小上がりはくつろぎの空間。下にたっぷり収納できる仕組みです。スクリーンを下げばお客様用の部屋にも。



テレビの後ろの壁を仕切りにして、裏にはバスルームや2Fへの階段が。家事動線を考えた回遊性ある造りです。ちなみに壁面のタイル貼りはご夫妻の力作。



ダイニングと一体化した空間のオープンキッチンが奥さまのこだわり。アイランドキッチンの背面に引き出し式収納があるタイプ。オープンや食洗機はワイドなドイツ製をチョイス。



CASE23:宮城県仙台市 Yさんのお宅  
家族構成:夫・妻 長女、次女  
延べ床面積:47坪 部屋:5LDK  
こだわり設備:オールモミの木床材 1F全面床暖房 全室スピンオフ壁



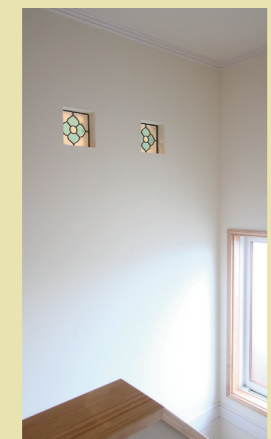
ご主人のお気に入りのパソコンコーナー。ご自身で設計、ウォールナット材を購入し削って磨いて…と腕をふるいました。



こちらは奥さまお気に入り。キッチン床の入り口のポイントに小さなタイルをご自分でデザイン。



洗面コーナーに自然光をできるだけ取り入れようと、階段手すりをアイアンに。2F窓から光が差し込みます。



家の随所に施されているステンドグラス。明るく光を取り込みながら印象的なアクセントに。

